

夢のあるようなまちづくりにしたい

- ・自動運転の乗り物があるまちにしたい
- ・空飛ぶ車やバイクが走るまちにしたい
- ・老後も外出が楽しくなるようなまちにしたい



観光地を増やしたい

- ・自転車で長浜を巡るルートをつくる
- ・高知新港から花海道へ回遊するものを計画して観光客を増やしたい(フェリーなど)
- ・被災後も桂浜は観光拠点として維持したい
- ・浦戸湾を周遊できるようにしたい
- ・避難機能を活かした展望台を海沿いにつくったらどうか



土地柄を活かしたまちづくり

- ・おいしい干物が手に入るまちにしたい
- ・自然を感じられるまちづくりにしたい(海からの風が吹き抜ける良さがある)
- ・砂地を活かして、家庭菜園を積極的に行う
- ・歩き遍路のルートは継続して残していきたい
- ・堤防を花海道から直角に伸ばすなどして、釣り拠点(スポット)をつくりたい
- ・地元の食材をアピールし、若者の集客ができるような施設・場所があればよい



利便性をよくしたい

- ・渡船のルートを増やしたい
- ・種崎と御畳瀬をつなぐ橋を建てたい
- ・商店街沿いの県道を広くして、地域住民も観光客も移動しやすいようにする
- ・三里地区と連携して東部自動車道を延伸してはどうか



■お知らせ (回答はこちらから⇒)

ホームページ上に掲載した「意見投稿プラットフォーム」でも意見を募集していますので、気軽にご回答ください。



■お問い合わせ先

高知市 防災政策課 事前復興まちづくり担当
 TEL:088-823-9055
 FAX:088-823-9085
 Mail:kc-080200@city.kochi.lg.jp

高知市 事前復興まちづくり ニュース VOL.1

R8.5.27

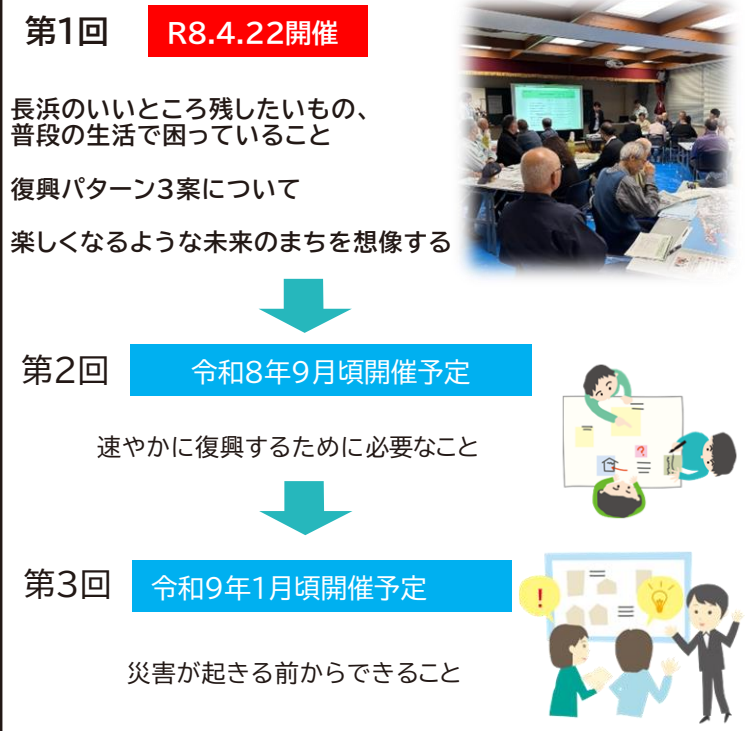
長浜地区 事前復興まちづくり計画 第1回ワークショップ (長浜地区)を 開催しました!

地域の方 29名参加

ワークショップでいただいたご意見のまとめ ワーク1は2ページ、ワーク2は3ページ、ワーク3は4ページです

※掲載スペースの関係により、すべての意見を載せてはおりません。ご了承ください。

●ワークショップの進め方・内容



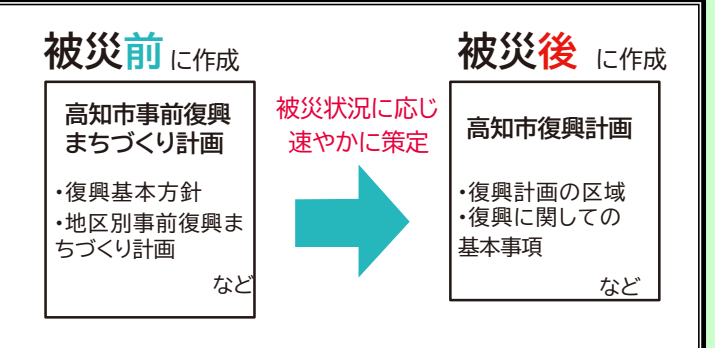
4月22日(水)、長浜ふれあいセンターで、長浜地区事前復興まちづくり計画第1回ワークショップ(長浜地区)を開催しました。ワーク1では「長浜地区の良いところ・残したいもの、困っていること」、ワーク2では「復興パターン3案」、ワーク3では「長浜地区が住み続けたいくなるような楽しい未来の姿」について、みんなで話し合いました。

事前復興まちづくり計画とは?

南海トラフ地震を想定し、被災前に復興まちづくりの目標や課題解決のための方策をとりまとめたものです。市で作った計画案を基に、地域の皆さんと一緒に作っていきます。

計画策定の効果

- ① 早期の復旧・復興事業の着手により、まちの復興を早める
- ② 適切な基盤整備の規模で被災地を復興できる
- ③ 人口流出の抑制につながる



暮らし

良いところ・残したいもの

- ・小中学校、幼稚園を残してほしい
- ・小中学校が近い距離にある
- ・ふれあいセンターはコミュニティの拠点として残したい
- ・商店街を中心にまちが形成されている
- ・病院を残したい

困っていること

- ・店が少ない(御畳瀬) ・郵便が遅い
- ・大きい病院がない ・高齢化で空家が多い
- ・土地所有者が不明の土地があり、売買が進んでいない(御畳瀬)



交通

良いところ・残したいもの

- ・花海道や南北に抜ける主要道路は交通の結末点となっているため、残したい
- ・県営渡船を残してほしい
- ・交通量が少ない
- ・道が迷路みたいで風情がある(御畳瀬)

困っていること

- ・バス路線が減り交通が不便である
- ・公共交通が少ない
- ・道路が狭く、車が通れないところもある



地域

良いところ・残したいもの

- ・釣りをしたい若者が移住している(御畳瀬)
- ・旧御畳瀬小学校ではコミュニティづくりを行っている(こうちみませ楽舎)
- ・門前地区は一つの家族のような人情のあるまちである
- ・住民同士のつながりが強い(昔からの友人が多い)

困っていること

- ・コミュニティが衰退している(世話役が不足している)
- ・少子高齢化が進んでいる
- ・人口、特に若者が減っている(学校の生徒数など)
- ・地域行事への参加が少ない



歴史・文化

良いところ・残したいもの

- ・祭り どんご祭り、長宗我部まつり
- ・神社・お寺 天満宮、狭島神社、深浦神社、秦神社、恵美須神社、若宮八幡宮、西法寺、雪蹊寺
- ・人物 長宗我部元親、野中兼山

- ・長宗我部元親の史跡等がある
- ・お祭りを続けたい(おみこし等)

自然・特産物

良いところ・残したいもの

- ・食物 干物、沖うめ、メヒカリ、地元野菜や魚
- ・自然 空気がきれい、温暖、静か(御畳瀬)、風光明媚
- ・津波の心配はあるが、太平洋を見渡せる環境(海岸線等)は残したい(花海道)
- ・海釣りのスポットになっている(御畳瀬)
- youtubeで全国へ発信したらどうか
- ・ウナギ、エビ、カニ等が取れるため、新川川を残したい



産業

良いところ・残したいもの

- ・農地・園芸を残したい(ゆり、しょうが等)
- ・漁業協同組合がある
- ・中村農園、競馬場、桂浜を残したい
- ・昔ながらの水路を残してほしい

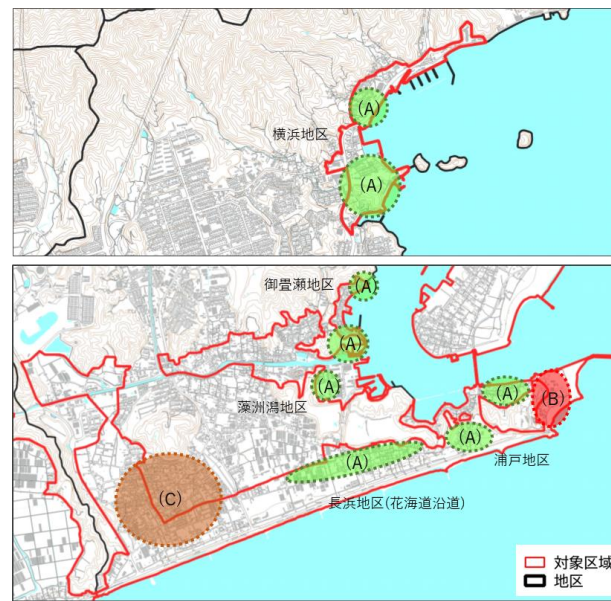
困っていること

- ・働き場所が少ない



【第1案】嵩上げ案

●被害が大きいと想定される地区を嵩上げすることで、現地で住み続けることができる案



- (A) 嵩上げ(土地区画整理事業)
- (B) にぎわい形成(桂浜観光拠点の再生)
- (C) 市営住宅・改良住宅の再編に合わせた災害公営住宅の検討

アイデア

・嵩上げではなく、集合住宅を建てて、1階は商業等の非居住化、2階以上を住居として活用したらどうか

・集合住宅を建てる場合は、地域別で建物を分けてはどうか

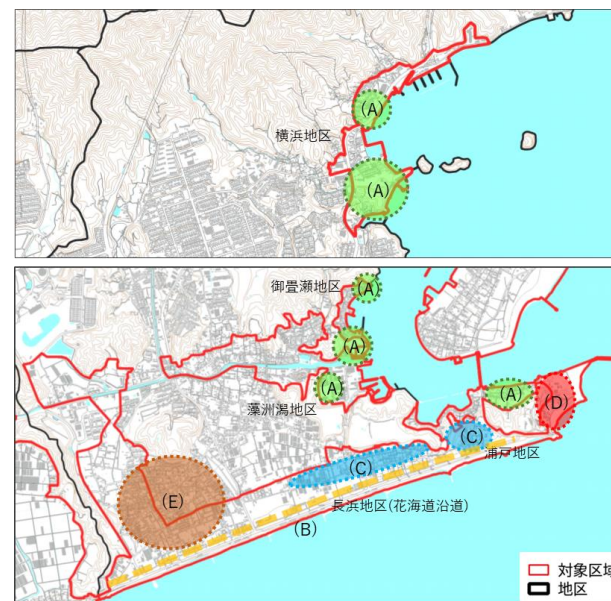
・被災後に集合住宅を先に建てて、そちらに住んでいる間に土地区画整理事業をしてはどうか

嵩上げ(土地区画整理事業)について

- ・砂地のため地盤が心配である
- ・土地を地盤改良するなら、さらに時間もお金もかかる
- ・合意形成がたいへんである
- ・時間がかかるため、他地区に出たら帰ってこない可能性が高い
- ・昔ながらのまちは嵩上げが必須だと思う
- ・嵩上げの土はどこから持ってくるのか

【第2案】嵩上げ(一部) + 二線堤形成案

●被害が大きいと想定される地区(一部)嵩上げと、花海道沿いに二線堤を整備し、内陸の津波浸水を防ぐ案



- (A) 嵩上げ(土地区画整理事業)
- (B) 二線堤(花海道北川側市道)
- (C) 被災市街地の再整備(土地区画整理事業)
- (D) にぎわい形成(桂浜観光拠点の再生)
- (E) 市営住宅・改良住宅の再編に合わせた災害公営住宅の検討

共通の意見

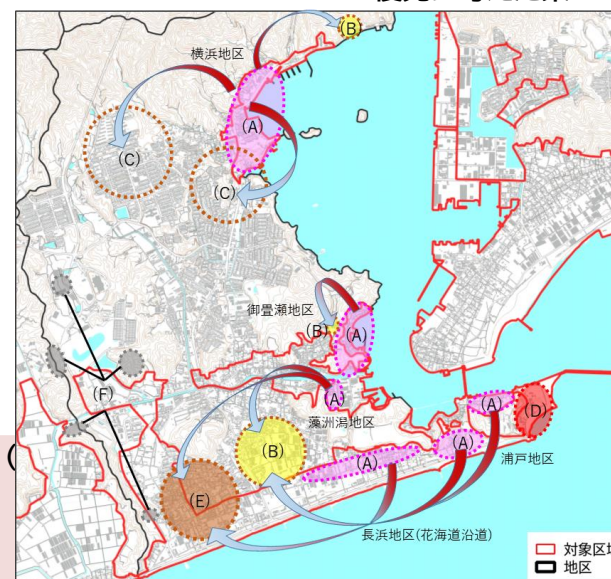
- ・複数案を持っておくことが大事である
- ・災害公営住宅を住み慣れたエリアに整備してほしい
- ・山を削って近隣の土地と一体で整備してはどうか
- ・競馬場の土地を有効活用できるのではないか

2案について

- ・2案が一番現実的ではないか
- ・コミュニティが残り、市街地もそのまま再建できるため2案が良いのではないか

【第3案】移転対応案

●被害が大きいと想定される地区を安全な場所へ移転することで、生命や財産の保護を優先に考えた案



- (A) 移転元の集落等
- (B) 遊休地等を活用した移転先
- (C) 空地、空家を活用した移転
- (D) にぎわい形成(桂浜観光拠点の再生)
- (E) 市営住宅・改良住宅の再編に合わせた災害公営住宅や移転先住宅の整備検討
- (F) 移転候補地(公共用地)

移転について

- ・個人の費用負担が大きい
- ・コミュニティ維持から近場に移転したい
- ・安全性を考えると移転がよい
- ・移転先の造成を事前に行い、平時でも利用(公園・グラウンド等)しておく、災害時の移転期間が短くなるのではないか

その他の意見

- ・民間の土地も協力してもらいながら復興計画をつくった方が考えやすいのではないか
- ・空家を仮設住宅にするか、更地にして活用したらどうか
- ・古い建物は地震によって壊れる心配がある
- ・被災後には建物再建についてのアンケートをとる必要がある